

アンケート結果からニーズの高かったテーマを選定

これからの学校教育、 これからの家庭学習

——先生と保護者が、いま同じ景色を見るために。

教育ジャーナリスト おおたとしまさ 氏

1973年、東京都生まれ。麻布中学・高校出身で、東京外国語大学中退、上智大学英語学科卒。中高の教員免許を持ち、リクルートから独立後、独自の取材による教育関連の記事を幅広いメディアに寄稿、講演活動も行う。著書は50冊以上

定員
180 名様

保護者、教職員
学校に関わる方

第一部 『変化する教育にどう向き合うか』

—教育の現在地から、未来を探る—

著名な教育ジャーナリスト・おおたとしまささんを講師に迎え、変わりゆく学校教育、変わりゆく家庭学習についてお話し頂きます。おおたさんは多くの現場を取材し、保護者・教職員双方の声に耳を傾けてきました。今、教育はタブレットや自立的な学びへと変化し、戸惑う声も増えています。おおたさんが語る「親は教える人ではなく、伴走者であればいい」という言葉は、家庭と学校がともに子どもを支えるヒントになります。「宿題を出すことが正解なのか、最近わからなくなってきた」「通知表をどう渡すべきか、迷いがある」そんな先生のための時間でもあります。

moderator



いろりば代表理事
ふじいたかゆき
滋賀県長浜市を拠点に、PTA改革とインターネット教育の実践を通じて教育改革を進めている。一部の声だけでなく、一人一人の声を大切に仕組みづくりに注力し、PTAを解散して「Asukumu制度」を創設。これらの実践は東洋経済educationなどで紹介され、全国から注目を集めている。

第二部 『聞くだけで終わらせない』

—参加者全員が“問いのパネリスト”

アンケートで寄せられたテーマや悩みは、多種多様でした。第二部では、教育ジャーナリスト・おおたとしまささんに、会場の皆さん自身から直接、知りたいことをぶつけてみてください。数多くの取材を通じて得た豊富な知見をもとに、皆さんの声に真正面から応えていただきます！

先生も保護者も、それぞれの立場で参加出来る場です。
先生と保護者が一緒に考える事ができる時間になれば。

入場無料
2025. **8.19** 火

[開演] 13:30 [開場] 12:45

長浜市民交流センター

〒526-0036 長浜市地福寺町4-36

おおたとしまさ
Official Site



[主 催] 対話型教育グループいろりば
(問合せ:iroriba2023@gmail.com)

[共 催] 長浜市教育委員会

申込は
こちら



特設



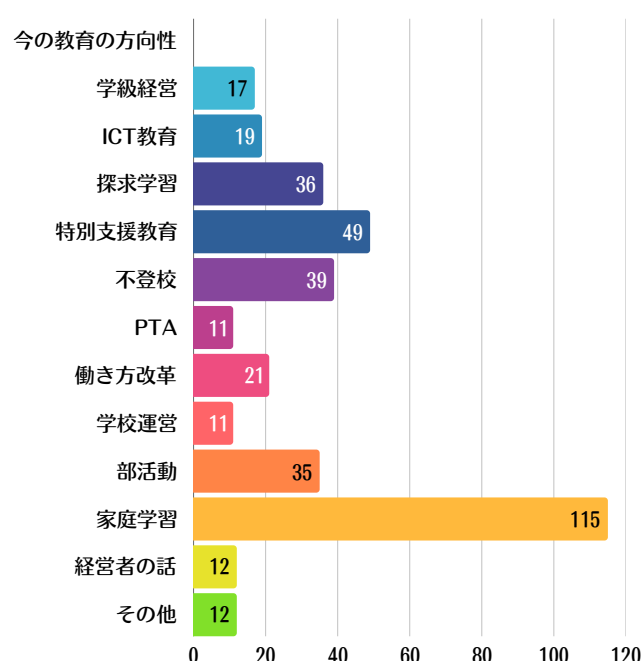
協働事業に関するアンケート結果

保護者および教職員の皆さまを対象に実施したアンケートには、多くのご回答をいただき誠にありがとうございました。皆さまの声を伺い、これまで気づかなかった点にも気づかせていただき、大変ありがたく感じています。いただいたご意見を少しでも活かせるよう今後も努力してまいりますので、引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

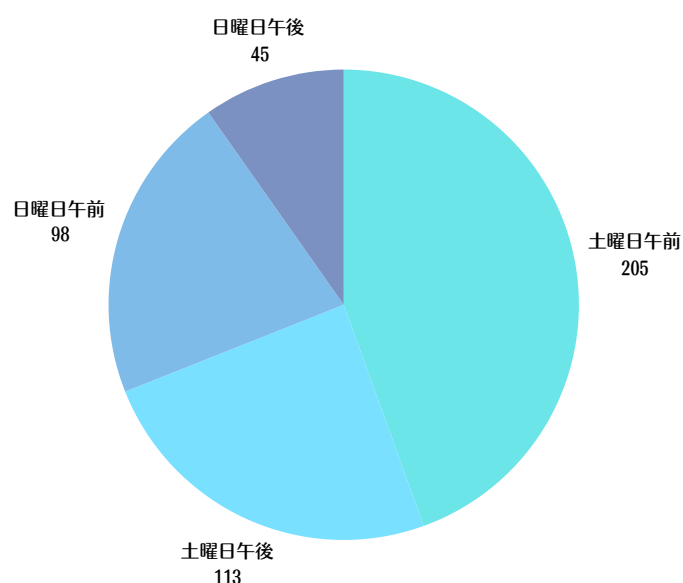
1.実施期間（2025年4月25日～5月16日）

2.回答者数（総464名）

3.教育講演会の関心あるテーマ



4.プレゼンコンテスト参加しやすい曜日



5.プレゼンコンテストテーマ（抜粋）

1. 学校で起業する私のお店
2. 18歳の自分へ
3. 「1日先生」になったら何を伝えたい？
4. もしも私が校長先生だったら
5. 自分の好きを伸ばせる学校
6. 多様性を認めるってどういうこと？
7. 居心地の良いクラスにするには
8. 自分の考える理想の大人像
9. なぜ勉強するのか？自分なりの答えを見つける
10. 将来のために今できることは？
11. わたしの身近なSDGs
12. 地域と学校のつながりって？

6.参加が増えるアイデア（抜粋）

1. 授業（家庭科・総合・道徳など）に組み込む
2. 親子で一緒に学べる活動にする
3. テーマを授業で扱い、考えを深めてから発表す
4. Zoomなどオンラインでも参加可能にする
5. アーカイブ配信で後から学べるようにする
6. 展示やイベントと組み合わせ、発表の場を用意
7. 参観日の後の時間に開催する
8. 学年や教科と連動した発表形式にする
9. 複数日・時間帯から選べる開催にする
10. 子ども・兄弟も一緒に参加できる場づくり
11. 2か月以上前に日程を共有する
12. テーマや形式に自由度を持たせ、表現しやすくする

